

平成30年第1回定例会（2月議会）
建設部 提出資料（2月23日）

建設委員会

【所管関係】

- | | | |
|---------|---|---------|
| ○ 建設政策課 | 地域振興局建設部の組織改正について | 1 |
| ○ 都市計画課 | 秋田県市町村未来づくり協働プログラム
～小坂町プロジェクト～
「明治百年通りにぎわい創りプロジェクト」
事後評価について | 2 |

地域振興局建設部の組織改正について

平成30年2月23日
建設政策課

1 概要

平成29年7月及び8月に発生した豪雨災害に伴う河川の改良復旧事業を進めるため、仙北及び平鹿地域振興局建設部の組織を改正する。(平成30年4月1日付け)

2 改正内容

- 仙北地域振興局建設部に、「災害復旧課」を新設し、「淀川・土買川復旧班」「^{つちかいがわ}檜岡川復旧班」を設ける。また、用地課に「災害復旧用地班」を新設する。
- 平鹿地域振興局建設部の「保全・環境課」に「^{うわみぞがわ}上溝川復旧班」を新設する。

(1) 仙北地域振興局建設部

改正前		改正後	
企画・建設課	企画監理班	企画・建設課	企画監理班
	道路建設班		道路建設班
	河川砂防班		河川砂防班
保全・環境課	道路保全班	保全・環境課	道路保全班
	河川保全班		河川保全班
	下水道班		下水道班
	ダム管理事務所		ダム管理事務所
		<u>災害復旧課</u>	<u>淀川・土買川復旧班</u>
			<u>檜岡川復旧班</u>
用地課	用地・管理班	用地課	用地・管理班
			<u>災害復旧用地班</u>
建築課	建築指導班	建築課	建築指導班
	住宅・営繕班		住宅・営繕班

(2) 平鹿地域振興局建設部

改正前		改正後	
企画・建設課	企画監理班	企画・建設課	企画監理班
	河川・道路建設班		河川・道路建設班
保全・環境課	道路保全班	保全・環境課	道路保全班
	河川保全班		河川保全班
			<u>上溝川復旧班</u>
用地課	用地・管理班	用地課	用地・管理班

秋田県市町村未来づくり協働プログラム～小坂町プロジェクト～ 「明治百年通りにぎわい創りプロジェクト」事後評価について

平成30年2月23日
都市計画課

1 位置付け

秋田県市町村未来づくり協働プログラムにおいて、小坂町が策定・実施した「明治百年通りにぎわい創りプロジェクト」について、同プログラム事後評価実施要領に基づき、事後評価の概要を報告するものである。

2 プロジェクトの目的

交流人口の拡大による地域の活性化を図るため、廃線となっている旧小坂鉄道施設等を活用した小坂鉄道レールパークを整備することなどにより、まちなか観光を推進する。

また、これらと十和田湖や道の駅等の観光資源を組み合わせた観光商品を造成するなど、十和田八幡平観光エリアの滞留型観光拠点の形成を図る。

3 プロジェクトの事業内容

(単位：千円)

策定年月日	実施期間	小坂町事業費		県事業費	総事業費
		A	あきた未来づくり 交付金(県)	B	A+B
H24.12.25	H24～H28	882,673	200,000	15,015	897,688

【事業内訳】

(1) 小坂町事業 882,673千円(うち交付金 200,000千円)

- ①小坂鉄道レールパークの整備(図-1、2参照)
- ②交流促進施設の整備(図-1、2参照)
- ③広域観光ルートの確立(旅行商品開発等)
- ④関連事業(図-1、2参照)

(2) 県事業 15,015千円

- ①北東北三県と連携した観光振興(スタンプラリー等)
- ②鉄道のまちづくり実践者によるセミナー開催(地域遺産プロデューサーの講演等)
- ③教育旅行の誘致(北海道・東北の学校および旅行会社への誘致活動)
※鹿角地域振興局で実施

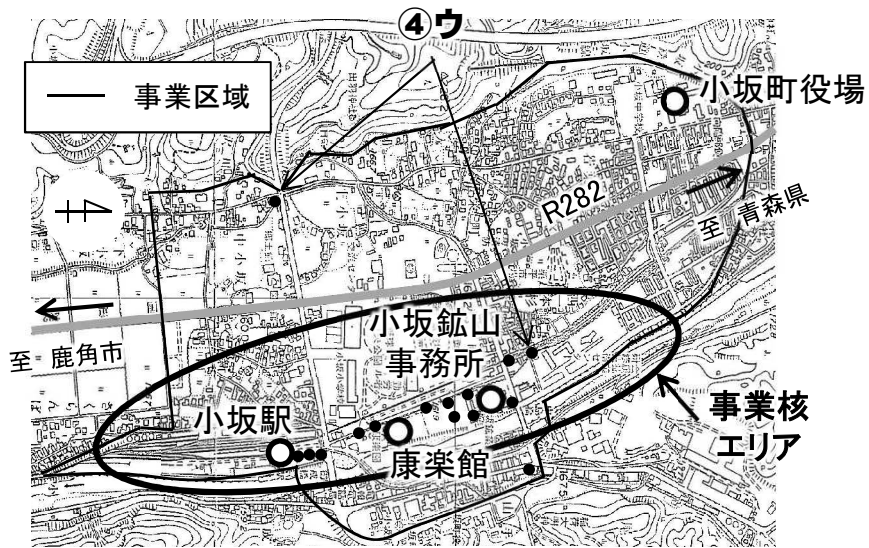


図-1 事業区域図



新設停留所



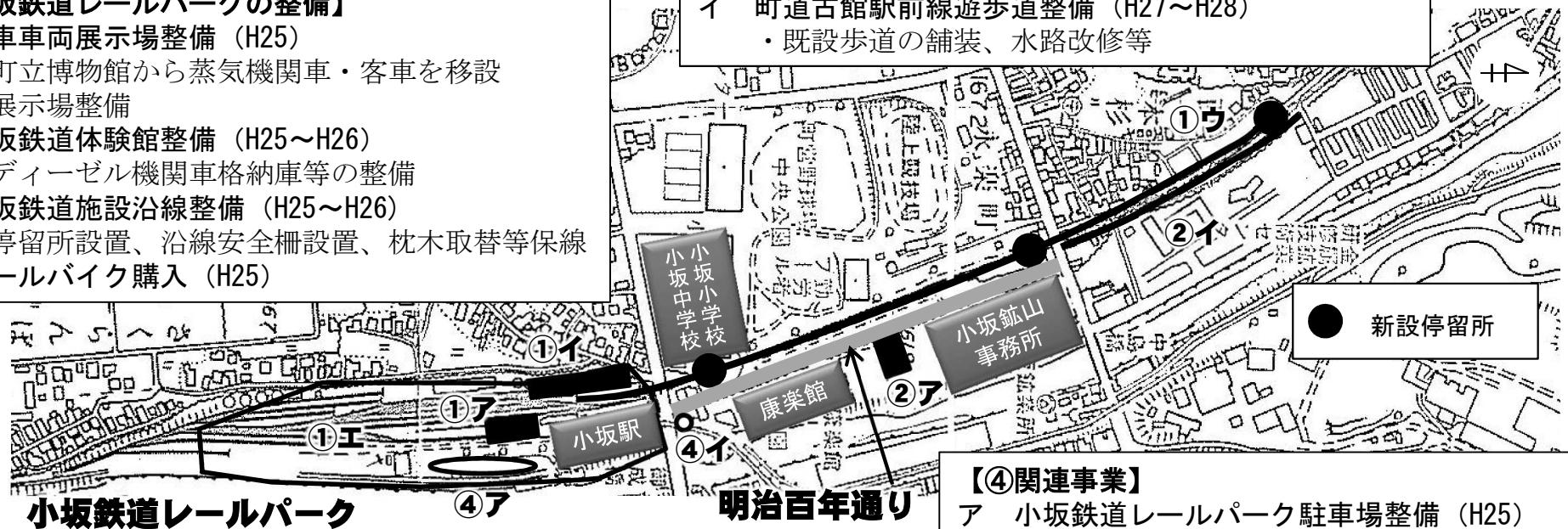
レールバイク運行状況

【①小坂鉄道レールパークの整備】

- ア 客車車両展示場整備 (H25)
 - ・町立博物館から蒸気機関車・客車を移設
 - ・展示場整備
- イ 小坂鉄道体験館整備 (H25～H26)
 - ・ディーゼル機関車格納庫等の整備
- ウ 小坂鉄道施設沿線整備 (H25～H26)
 - ・停留所設置、沿線安全柵設置、枕木取替等保線
- エ レールバイク購入 (H25)

【②交流促進施設の整備】

- ア 明治百年通り交流促進施設整備 (H26)
 - ・1904年に建築された旧小坂鉱山工作課原動室（電気室）を小坂鉱山から移築し、カフェ、土産物店として活用。
- イ 町道古館駅前線遊歩道整備 (H27～H28)
 - ・既設歩道の舗装、水路改修等



小坂鉄道レールパーク

明治百年通り

【④関連事業】

- ア 小坂鉄道レールパーク駐車場整備 (H25)
- イ ポケットパーク整備 (H27)
- ウ 情報板設置 (区域内に全15箇所) (H27～H28)

図-2 事業核エリア 拡大図

4 プロジェクトの成果指標と達成状況

指標名	基準値	目標値 (H28年度)	実績値	達成率	参考値
明治百年通りの観光客数	142,868人 (H22)	180,000人	121,644人 (H28)	68%	110,499人 (H25 最低値)
「活気がある」と感じる町民割合(町民アンケート調査)	15.4% (H21)	30.0%	9.3% (H29)	31%	—
【参考】小坂町への満足度における「満足」の割合 (東北・関東在住の町来訪経験者に対するインターネットによるアンケート調査)			67.2% (H28)		63.5% (H28 再来訪意向)
小坂鉄道レールパーク体験入場者数(機関車体験運転、レールバイク、観光トロッコ)	なし (H24)	12,000人	11,504人 (H28)	96%	12,370人 (H26 初年度)
【参考】小坂鉄道レールパーク有料入場者数 (上記体験以外の入場者を含む)			18,562人 (H28)		13,657人 (H26 初年度)

5 経済波及効果分析

評価の客観性を保つため、本プロジェクトにより実施した事業について、(一財)秋田経済研究所が行った経済波及効果の分析結果は、次のとおりである。

(単位：百万円)

	直接効果	一次波及効果	二次波及効果	総合効果
①ハード事業費支出による経済波及効果	783	249	181	1,213
②来場者の消費支出による経済波及効果	12	5	2	19
合計	795	254	183	1,232

6 民間アドバイザーの意見

- 今回のプロジェクトにより、街が綺麗になり、非常に気持ち良く、歴史的空間として華があるようになったことで、地域の活性化に繋がっている。持続可能なまちづくりを今後も継続して欲しい。小坂ブランドが出来上がっており、このような街はほかに無いだろう。
- 小坂鉄道レールパークの利用者はレールバイクやトロッコは楽しんでいるようだが、その後に楽しむものが無く帰ってしまっているように見えるので、新規メニューの開発が必要である。

※ 民間アドバイザー

- ・米山 淳一 氏 (地域遺産プロデューサー、滋賀県長浜鉄道スクエア 名誉館長)
- ・千葉 裕之 氏 (小坂鉄道保存会 会長)

7 全体評価

明治百年通りの観光客数については、東日本大震災等の影響もあり、平成25年度に11万人まで落ち込んだ後、平成28年度には1万1千人増加し、12万1千人まで持ち直している。

また、小坂鉄道レールパークについては、平成26年度の新規開園後、初年度から1万3千人の入場者数を記録し、平成28年度には1万8千人にまで伸ばしており、小坂町における新たな観光需要を生み出すことができた。

このように、本プロジェクトの実施により明治百年通り周辺に賑わいが創出され、このエリアを中心とする地域の活性化に寄与しているものとする。

8 今後の推進方針

民間アドバイザーの意見や全体評価を踏まえ、県町連携の下、次のとおり推進する。

(1) 回遊性の向上

鉾山の歴史を紹介した情報案内板、明治百年通りに設置されているモニュメントなどは全て小坂鉾山や明治を基軸とした物語に基づいて設置しており、それらを有機的につなげていくためのパンフレットの作成などにより、人びとが街を歩く姿を増やしていく。

(2) 持続可能な観光地の構築

鉄道遺産を含めた歴史的遺産を後世に残していくため、クラウドファンディング（※インターネットを通じて、広く資金を集める方法）などの積極的活用や、新たな体験メニューの構築などにより、持続可能な観光地を目指す。

(3) 愛されるまちづくり

小坂まちづくり株式会社や小坂鉄道保存会などの民間団体と連携を密にし、より多くの住民や小坂町ファンなどと、共に創り上げるまちづくりを目指す。

【今後の具体的取組例】

- ・まち歩きパンフレット作成
- ・広報誌、ツイッター・フェイスブック等による情報発信強化（更新頻度の増）
- ・小坂鉄道レールパーク年中無休化
- ・三館共通券（小坂鉄道レールパーク、康楽館、小坂鉾山事務所）の販売強化
- ・小坂鉄道レールパークにおける、機関車運転席への乗車体験や乾電池で走る車両への乗車体験等の新規体験メニュー追加
- ・桜の開花時期のレールバイク・トロッコ運行を『お花見号』としてイベント化
- ・周辺飲食店での小坂鉄道レールパーク入場券提示による飲食代割引